

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年5月

鳥取港湾事務所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	許認可等の処理状況調べ	6 頁
	(1) 許認可等の状況	
	(2) 不許認可（取下げ、不受理）の状況	
7	現金の取扱状況	7 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	10 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	11 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
12	建設機械等の管理状況調べ	12 頁
13	備品の処分状況調べ	12 頁
14	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
15	鳥取港における取扱貨物の推移	13 頁
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和4年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当該 年度	3.4.1 現在	当該 年度	3.4.1 現在	当該 年度	3.4.1 現在	当該 年度	3.4.1 現在	
定員	2	2	4	4	0	0	6	6	
現員	() 2	() 2	() 4	() 4	() 0	() 0	() 6	() 6	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	2	2			2	2	4	4	一般事務2 巡視員1 技術員1

4 役付職員の調べ

(令和4年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	中原 孝志		2	
次長兼課長補佐	長谷川 晋一	1	2	
課長補佐	井手尾 涉		2	

5 主な事業に関する調べ

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源
鳥取港における物流及び交流の促進					
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく				
令和新时代創生戦略	SDGsのゴール：気候変動に具体的な対策を				
政策項目					

(概 要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取港の取扱貨物量の増加やクルーズ船寄港に向け、利用者の意見等も踏まえながら必要な施設整備に取り組み、物流や交流の促進を図る。

(イ) 事業の実施状況

【主な貨物の取扱実績】

- PKS (パームヤシ殻)
バイオマス発電の補助燃料材としてPKSをインドネシアから輸入 (H28～)。
- 凍結防止剤・融雪剤
冬季の道路の凍結防止等のために散布する塩化カルシウム等を中国から輸入 (H12～)。
- 砂利・砂・石灰石等
開港当初からの主要な物流貨物である砂利等 (建設資材等として利用) を移出入。
- コンテナ貨物
既存の内航コンテナ航路 (敦賀—大竹) を途中寄港させ、鳥取港発のコンテナ貨物を仕向け先に試験輸送 (博多経由で東南アジアに輸出：紙製品、中古自動車部品等)。

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 貨物船舶の来港予定日程を関係者間で情報共有し、必要に応じて埠頭の利用調整を行い、円滑かつ効率的な港湾利用に取り組んだ。
- 第2防波堤の改良工事 (暫定嵩上げ) の施工により、港内の静穏度向上と荒天時の漂着ごみの流入防止を図り、通年を通じた安定的な航路・泊地の確保に取り組んだ。
- 上屋使用の突発的なトラブル (シャッターの不具合など) に関する対応マニュアルの作成により、職員・利用者が応急的に措置できるよう情報共有し、荷役作業の時間的ロスの低減を図った。

ウ 成果及び効果

取扱貨物量は、前年比113%と増加した。なお、クルーズ船の寄港は、コロナ禍により実績はなかった。

(ア) 貨物種別の取扱貨物量 (年度集計)

取 扱 貨 物	数 量 (トン)		備 考
	令和3年度	令和2年度	
PKS	10,550	18,317	輸入
凍結防止剤・融雪剤	25,650	9,000	輸入
砂利・砂・石灰石等	496,370	406,212	移出入
重油・軽油	26,341	25,700	移出入
その他 (水産物、水、人工漁礁)	57,243	15,863	移出入
合 計	616,154	475,092	前年比：113%

(イ) 船舶総トン数及び入港船舶数 (年度集計)

区 分	数 量	
	令和3年度	令和2年度
船舶総トン数 (トン)	261,443	449,728
入港船舶数 (隻)	511	674

エ 課題

- 貨物船やクルーズ船を安全に受け入れるため、新たな港湾計画に基づき、航路や港内静穏度の確保対策に取り組むこと。
- 限られた予算での予防保全的な維持管理による施設の長寿命化とともに、使用実態も踏まえ、より使いやすく維持コストが小さい設備などへの移行の検討。
- 海上輸送のトレンドであるコンテナ輸送の可能性を見極めながら、これに対応する施設・設備の充実を図ることが必要。

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取港長期構想					
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく				
令和新时代創生戦略	SDGsのゴール：産業と技術革新の基盤をつくろう				
政策項目					

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

近年、鳥取港では、台風等異常気象による航路埋没や港内静穏度の悪化、さらに船舶の大型化による新たな貨物への対応が大きな課題となっている。そのため平成30年度から鳥取港長期構想検討委員会を開催し、令和2年度に鳥取港港湾計画の改訂を行った。今後の港湾施設整備、埠頭再編に向けて取り組んでいるところである。

・航路埋没

平成29年度以降、毎年、台風等による千代川を流下する洪水により、千代航路に大量の砂堆積、さらに葦等の漂着ゴミが港内に流入し、船舶の航行に大きな支障が発生している。平成29、30年度には航路埋没により大型貨物船の入港ができず、他港で荷揚げを行った事例もあった。このため港湾災害復旧事業として航路浚渫等実施しているが、恒久的な航路の埋没対策が急務となっている。

対応策の一つとして、千代川からの大量の砂や漂流ごみの流入抑制を図り、安定した航路の確保を図るため、主要航路を千代航路から西浜航路へ移行する航路再整備を進める。

・港内静穏度の悪化

近年、台風等の高波浪時には、鳥取港内の静穏度が悪化し、貨物船、漁船等が動揺し、岸壁への衝突による船体及び岸壁の損傷が発生している。このため、年間を通じた港内静穏度の確保のため、冬期風浪対と併せて防波堤嵩上げなどの対策を図る。

・船舶の大型化による新たな貨物への対応

貨物船の大型化によって輸送の効率化を図りたい利用者があるが、岸壁の機能が十分でない状況である。また、新たな貨物への対応について背後企業から要請があるが、港湾関連用地がほぼ分譲済であり、新たな企業が進出できない。そのため、千代緑地部分を再整理するなど、新規貨物の取扱用地を確保し、港湾関連企業の誘致・拡大を目指す。

(イ) 事業の実施状況

・鳥取港長期構想検討、港湾計画改訂作業

鳥取港利用推進事業（長期構想検討、環境影響調査、船舶航行安全検討業務ほか）

H30単県65,839千円、R1単県92,660千円[繰越]、R2 単県6,561千円

H30.4 鳥取港長期構想検討準備会

H30.11 鳥取港長期構想検討委員会（第1回）

R1.6 " (第2回)

R2.2 " (第3回)

R2.11 国土交通省交通政策審議会

R3.1.29 鳥取港港湾計画改訂（告示）

・航路埋没等

H29.9～10台風18、21号

浚渫149,233m³（災害428,256千円、単県87,181千円）

漂着ゴミ撤去処分771m³（災害14,409千円）

H30.7豪雨

浚渫81,495m³（災害229,518千円、単県5,334千円）

漂着ゴミ撤去処分466m³（災害10,687千円）

R1. 10台風19号

浚渫7,745m³（災害14,197千円、単県13,356千円）〔繰越〕

※R2. 4豪雨（増破）により施工済分のみ（未施工分はR2. 4豪雨へ移行）

R2. 4豪雨

浚渫108,080m³（災害266,279千円、単県116,080千円）

R3. 7、R3. 8豪雨

浚渫12,202m³（災害44,623千円、単県1,235千円）

・港内静穏度対策（当面の緊急対策）

第2、第8防波堤を嵩上することにより高波浪時の越波を防止し、港内静穏度向上、漂着ゴミ流入の低減を図る。

R1 鳥取港第2、第8防波堤嵩上設計（交付金15,484千円）〔繰越〕

R2 第2、第8防波堤嵩上工事（交付金105,899千円）

R2 国補正 第2防波堤嵩上工事（補助34,771千円）〔繰越〕

第2防波堤地質調査業務委託（補助15,400千円）〔繰越〕

R3 第2防波堤設計業務委託（補助36,765千円）〔繰越〕

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

航路浚渫、静穏度対策など港湾利用者や漁協等と協議調整しながら計画をすすめていった。

ウ 成果及び効果

当面の緊急対策について交付金、補助（国補正）、単県事業で対応した。また、新たな港湾計画に基づく施設整備に向けた設計等に着手した。

エ 課題

今後も台風等の異常気象により航路埋没や港内静穏度の悪化が予想されるが、その対策には抜本的な施設整備が必要となり、かなりの年月を要する。なお、令和3年7月豪雨により再び千代航路が埋没した。新たな港湾計画に基づく港湾施設整備は、長期間を要することから、関係者と協議しながら計画的かつ効果的・効率的に取り組む必要がある。

6 許認可等の処理状況調べ

(1) 許認可等の状況

(令和4年3月31日現在)

許認可等の名称 (法令名)	法定又は 標準処理 期限	申請書(届出書)		許認可 不勧告 受 理	不許認可 取下げ 不受理	翌年度繰越
		前年度か らの繰越	新 規 (更新分を含む)			
係留施設使用許可 申請(港湾法、鳥 取県港湾管理条例)	6日	件 0	件 698	件 0	件 0	件 0
港湾施設使用許可 申請(港湾法、鳥 取県港湾管理条例)	6日	0	158	0	0	0
船舶給水許可申請 (港湾法、鳥取県 港湾管理条例)	6日	0	50	0	0	0
荷役機械使用許可 申請(港湾法、鳥 取県港湾管理条例)	6日	0	10	0	0	0
港湾占用許可申請 (港湾法、鳥取県 港湾管理条例)	6日	0	15	0	0	0
漁港施設占用許可 申請(鳥取県漁港 管理条例等)	6日	0	23	0	0	0
公共海岸占用許可 申請(海岸法等)	6日	0	2	0	0	0
合 計			956			

(2) 不許認可(取下げ、不受理)の状況
該当なし

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
港湾占用料	94,272	7	係留料
延滞金	2,000	1	港湾施設使用料の延滞金
合 計	96,272	8	

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	14,970円
--------	---	----------	---------

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	鳥取港湾事務所	鳥取市港町8番地	3125.00	不明	増加	R				R	3,125.00	不明	
					減少	R				R			
計			3125.00	0			0	0			3,125.00	0	
普通財産	鳥取港関連用地	鳥取市港町7番地他	21,222.31	不明	増加	R				R	21,222.31	不明	
					減少	R				R			
	鳥取港西浜地区港湾関連用地	鳥取市賀露町西4丁目1801番地	14,303.44	不明	増加	R				R	14,303.44	不明	
					減少	R				R			
	鳥取港危険物取扱施設用地	鳥取市港町62番地	17,581.29	不明	増加	R				R	17,581.29	不明	
					減少	R				R			
計			53,107.04	0			0	0			53,107.04	0	
合計			56,232.04	0			0	0			56,232.04	0	

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	鳥取港湾事務所	鳥取市港町8番地	452.61	不明	増加	R				R	452.61	不明	
					減少	R				R			
	車庫・倉庫	鳥取市港町8番地	237.64	不明	増加	R				R	237.64	不明	
					減少	R				R			
	旧鳥取港海遊館	鳥取市港町8番地	483.40	不明	増加	R				R	483.40	不明	
					減少	R				R			
計			1173.65	0			0	0			1173.65	0	
合計			1173.65	0			0	0			1173.65	0	

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア）異動状況
該当なし

（イ）出願及び登録の状況
該当なし

（ウ）活用の状況
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚 56	枚 0	0枚 0円	56枚

9 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付使用料(円)		貸付(使用許可)先	備考
							単価	本年度の 貸付使用料	住所 氏名	
普通財産(単年)	駐車場等	千代地区危険物用地	2,071.02㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	844,727	(有)アセメントカンパニー	
普通財産(単年)	物置設置	千代地区官公庁用地	8.80㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	4,431	(株)クオリティライン	
普通財産(単年)	糶食のみやこ鳥取職員駐車場として	西浜地区港湾関連用地	692.30㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	317,283	糶食のみやこ鳥取	
普通財産(単年)	資材の一時保管	千代地区港湾関連用地	979.95㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	448,274	山陽特殊製鋼(株)	
普通財産(単年)	船舶用陸電設備配線用地	千代地区官公庁用地	6.60㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	3,323	個人1名	
普通財産(単年)	ビーチスポーツのためのコンテナ倉庫	西浜地区港湾関連用地	15.00㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	6,874	(一社)すなばスポーツ	
普通財産(単年)	鳥取外洋ヨットクラブの船台置き場	千代地区官公庁用地	65.80㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	33,135	鳥取外洋ヨットクラブ	
普通財産(単年)	鳥取外洋ヨットクラブの物置コンテナ設置	千代地区官公庁用地	21.00㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	10,575	鳥取外洋ヨットクラブ	
普通財産(単年)	鳥取港波浪観測機器倉庫用地	西浜地区港湾関連用地	131.76㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	33,410	中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所	
普通財産(単年)	かにっこ館職員駐車場	西浜地区港湾関連用地	100.00㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	45,830	(一財)鳥取県観光事業団	
普通財産(単年)	資材の一時保管	千代地区港湾関連用地	1,055.16㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	482,678	日本冶金工業(株) 大江山製造所	
普通財産(単年)	伝馬船の陸揚げ保管場所	千代地区官公庁用地	50.00㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	16,786	(宗)賀露神社	
普通財産(単年)	来客・従業員駐車場	西浜地区港湾関連用地	1,572.00㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	737,469	(株)かねまさ浜下商店	
普通財産(単年)	船舶の陸揚げ場	千代地区官公庁用地	15.62㎡	R3/4/1	R3/4/1	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	7,865	個人1名	
普通財産(単年)	鳥取外洋ヨットクラブの船舶陸揚げ場	千代地区官公庁用地	475.00㎡	R3/11/7	R3/11/7	R3/11/7 ~ R4/3/31	月額・年額	95,024	鳥取外洋ヨットクラブ	
普通財産(単年)	駐車場	西浜地区港湾関連用地	661.00㎡	R3/10/1	R3/10/1	R3/10/1 ~ R4/3/31	月額・年額	151,054	(有)鳥取陸送	
計								3,238,738		

(2) 建物

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付使用料(円)		貸付(使用許可)先	備考
							単価	本年度の 貸付使用料	住所 氏名	
行政財産	事務室として使用	港湾事務所1階	55.58㎡	R3/2/18	R3/2/18	R3/4/1 ~ R4/3/31	月額・年額	免除	鳥取県腎友会	
計								-		

(2) 物 品
該当なし

10 借受不動産明細調べ

(令和4年3月31日現在)

区 分	種 別	借受(使用) 目 的	所在地	数 量 又 は 面 積	契 約 の 状 況			借 受 先		備 考
					契約書 の有無	借受期間	借料(円)		住 所 名	
							単価	本年度の 借 料		
土地	山林	緑地等	鳥取市賀露町字 西浜1757-1125	24,808.8 m ²	有	3.4.1~ 6.3.31	月額・年額	無償	鳥取市幸町71番地 鳥取市長	
合 計							月額・年額	0		

1.1 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市港町13-1	20㎡ (8m×2.5m)	22円/日×月の日数

1.2 建設機械等の管理状況調べ

(令和4年3月31日現在)

機 械 名	型式 年式	耐用 年数	取得年月日	稼働 日数	修 理 費	備 考
			取 得 金 額			
荷役クレーン	7200G-2 クローラークレーン 平成29年8月 製造		(平成30年3月)	20日	56,100円	
			平成29年11月 156,276千円			
クレーン用 グラブバケット(2台)	RSHC-120/60T10S No.1:R090 No.2:R091 平成28年3月 納入		平成28年3月	4日	0円	
			14,472千円 ×2台			
合 計			185,220千円		円	

1.3 備品の処分状況調べ

該当なし

1.4 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 鳥取港における取扱貨物の推移

(1) 取扱貨物量の推移

(単位：t・%)

区分	平成28年	平成29年	平成30年		平成31年(令和元年)		令和2年		令和3年		
	取扱量	取扱量	取扱量	対前年比	取扱量	対前年比	取扱量	対前年比	取扱量	対前年比	
外	輸出	9,063	8,202	7,410	90.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	輸入	35,018	39,224	46,294	118.0	26,778	57.8	21,317	79.6	26,950	126.4
	計	44,081	47,426	53,704	113.2	26,778	49.9	21,317	79.6	26,950	126.4
内	移出	6,006	19,334	13,179	68.2	18,415	139.7	15,914	86.4	9,192	57.8
	移入	666,452	740,007	572,898	77.4	496,241	86.6	444,337	89.5	450,751	101.4
	計	672,458	759,341	586,077	77.2	514,656	87.8	460,251	89.4	459,943	99.9
合計	716,539	806,767	639,781	79.3	541,434	84.6	481,568	88.9	486,893	101.1	

注 暦年の数値を記載すること。

(2) 令和3年の貨物状況

ア 輸出

輸出先	品目	単位(t)
合計		

イ 輸入

輸入先	品目	単位(t)
中国	化学薬品(凍結防止剤)	16,400
インドネシア	動植物性製造飼肥(PKS)	10,550
		26,950

ウ 移出

品目	単位(t)	主な移出先
重油(A重油)	1,142	海上
石油製品(軽油)	19	海上
水・氷	2,679	海上
石材	3,954	海上(浦富沖)
コンテナ貨物(自動車部品、産業機械、紙・パルプ)	393	敦賀
その他製造工業品(人工漁礁)	910	海上(但馬沖)
水産物	95	海上
合計	9,192	

エ 移入

品目	単位(t)	主な移入先
砂利・砂	288,573	加古川、戸畑、船橋、宮津、西宮、津久見、唐津、三隈、小野田、似島
重油(A重油、C重油)	19,657	境港、菊間
化学薬品(水酸化ナトリウム)	720	宇部
石灰石	94,200	仙崎
石材	4,408	隠岐
セメント	41,060	敦賀、津久見
水産物	2,133	海上
	450,751	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

注1 本表には、できるだけ何らかの意見・要望等を記載してください。

2 記載する内容

- ①業務の効率化に関する意見等、②制度改正等に関する意見等、③事務の改善に関する意見等、
- ④事務の執行上、支障となっている事項等
- ⑤その他（事業所管課への要望や県政全般に対する意見・要望等）

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし